



仙巖園より桜島を望む

平成2年卒業の久保秀作と申します。同期である亀山博一(はくいつ)住職よりバトン
を頂いたものの、地元鹿児島での移住関連の仕事と重なり、今日となってしまいました。
磯野会長には遅くなり大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

学生時代の剣道部生活につきましては、平成2年卒業の投稿は私で4人目となりネタ
も尽きております。是非投稿済みの同期3名の記事をご参照頂けると幸いです。

米山先輩(埼玉最強のスーパーマン)

[あいつ 何してる?! Vol.1【平成2卒 米山先輩編】 | 立教大学紫光会](#)

島田先輩(フランスの女性剣豪)

[あいつ何してる? Vol.15【平成2年卒 ルモアーニュ島田泉子先輩】 from Paris | 立教大学紫光会](#)

博一先輩(自衛隊員から臨済宗住職へ)

[あいつ何してる? Vol.19【平成2年卒 亀山博一\(陣出博司\)】*元 自衛隊員、現お寺の住職 | 立教大学紫光会](#)

さて、現在私は出身地である鹿児島県錦江町という田舎の小さな町に住んでいます。
会社を早期退職後約40年ぶりに故郷に帰ってまいりました。



我が故郷錦江町

過去を振り返りながら簡単に現在までの経緯から、今「あいつ何してる？」に繋がれたらと思います。

母校である地元の南大隅高校を卒業後、東京での浪人生活を経て立教大学剣道部の門を叩きました。

学生時代

当時鹿児島県の武骨な男であった私は、華やかな都会生活に憧れまして、立教大学を目指すことになったのですが、苦勞の末何とか入学することができました。

当時を思い出すと、入学式後数日間でしたか、キャンパス全体にサークルや体育会のブースが立ち並び、先輩方が新入生を勧誘していました。当然私はテニスサークルとかスキーサークルのブースのみ訪問し、華やかな諸先輩のお話を聞きました。

そこで、体育会はどのような雰囲気なのですか？と聞くと「あんなところはとんでもない、4年間を棒に振るのか」と諭されました。

しかしながら小学3年から始めた剣道も多少気がかりだった為、体育会剣道部のブースを覗きました。そこには、まるでフランスの貴公子を思わせる先輩がおられました。

当時主将の土屋先輩でした、まるで入部する意思はなかったので、ブランクありすぎるのでついて行けるとは思えませんでしたと話したところ。

「おめーなー同じようなのが2人入ってもう一緒に稽古してるよ！」と言われ同じ境遇を辿った？織戸先輩と鈴木先輩を紹介してもらいました。

入部拒否をする理由がなくなり即入部、華やかで煌びやかな4年間のスタートでした(笑)

卒業後

大学卒業後は当時の住友銀行(現三井住友銀行)に就職しました。当時は金融の営業マンをして「野村」と「住友」の通った後にはぺんぺん草も生えないという逸話があり恐れられていました。入行して感じました、その通りでした。

これは営業をやってると私は死ぬなと感じましたので、死ぬ前に支店長にお願いして、これも昔からの憧れだった外為業務関連に異動してもらうことに成功しました。

国際業務のバックオフィスではありましたが、当時流行っていた海外向けシンジケートローンの資金管理等ダイナミックな業務を担当させて頂き、ぺんぺん草の世界ではなく助かりました。そこから私の外為生活が始まりました。

剣道では、当時の住友銀行は実業団の中ではトップクラスで常に関東実業団、全日本実業団では上位を占めていました。

ノンセクションであった私ですが、恐る恐る入部して毎週土曜日は中野の道場に通っておりました。当時学生時代名を馳せた選手も数多くいて大変刺激になりました。

特に印象に残っているのは、海外の職員向けにセミナーをやって欲しいという依頼があり、シンガポールに出張して一週間のセミナーを担当することになってしまったことです。

業務では英語も使ってはいましたが、単純なビジネス英語です。しかしながらセミナーともなると、質疑応答もありますので、それをカバーするべく、熱血帰国子女職員による出張までの地獄のトレーニングは忘れられません。今でもその時の経験が生かされております。



現地でセミナー受講生たちと

調布市剣道連盟と錦江町立田代中学校

実業団で剣道しながらも地元の道場にも通っておりました。調布市に居住しておりましたので調布市では一番規模の大きい調布中央会という団体にお世話になっていました。

そこで約10年間子供から大人まで剣道の指導をさせて頂く機会をもらいとても貴重な経験となりました。私は元々人に教えることが苦手だったのですが、中央会の先生方には指導法の基本から教えて頂き少々は上達したかもしれません。

特に木刀による基本技稽古法は日本武道館で行われる全日本選手権大会の演武として調布の子供たちが代表で披露するほどレベルの高いものでした。

現在地元の錦江町立田代中学校で体育の授業である武道(剣道)を担当させて頂いています。その時の経験が大いに役立っております。



田代中学校の生徒たちと

関東学生剣道連盟審判

土屋先輩のお誘いもあり関東学生剣道連盟審判にも登録させて頂きました。地元のローカルな試合では、審判もお願いされることは多かったのですが、関東学生剣道連盟の試合は非常にレベルが高く審判研修会には必ず出席するようにしました。

約10年間関東学生の新人戦から個人戦、優勝大会とほぼ経験させて頂き大変良い勉強になりました。鹿児島へ帰ってからも一時は継続していたのですが、遠距離と仕事の関係もあり残念ながら本年度より断念致しましたすみません。



審判でもご一緒させていただいた先輩方と学連剣道大会にて

同期

同期とは非常に仲良くして頂き、今でも年に一度は上京して宴会には参加させて頂いています。特に昨年は現在師範の原先生をお迎えして同期で集まることができました。

我々の学生時代原先生は立教高校に赴任されたばかりで、大学の道場、高校の道場で昼から夜まで優しく稽古のご指導頂くことも数知れませんでした。

今回は立教高校の道場で稽古から始まりました、原先生に稽古をお願いするとなぜか皆、地稽古のつもり→打込み→掛り稽古と、この年になっても同じパターンを辿ることでした。

へろへろ後のアルコールは即五臓六腑に染み込みその後の賑やかな宴に大いに活かされました。



かなり遅れましたが原先生の還暦のお祝い稽古会でした

現在

鹿児島へ帰って来てからは、現在全国で展開されている人口急減地域への施策「特定地域づくり事業協同組合」設立のお手伝いをする事になりました。

帰郷してから暫く休養して、そろそろ仕事でも探すかと暢気に構えておりましたが、まずは地元のハローワークに通うことにしました。親切な職員の方々に色々ご教示頂きましたが、結論として自分のキャリアを生かせるような仕事は地元には皆無であることが判明しました。

ちょうどその頃銀行時代同じ職場で働いていた先輩から声がかかり、その方は当時転職されており、大手コンサル会社で金融機関担当をされておりました。

今度外資系会社が日本の決済業務に進出する計画があるので、外為の決済関連で経験のある人を探しているとのこと。

その頃流行りだしたりモートを利用すれば地元に住ながらキャリアを生かせる仕事が可能であることが判明し、派遣という形でお手伝いすることになりました。

しかしながら、コンサル業務専門の派遣会社に登録して、東京で準備活動中に一本の電話が入りました。

現在町長をしている高校時代の同級生からで、地域活性化に係る新規事業設立を手伝って欲しいとの依頼でした。話を聞くと、地域活性化、地元貢献という意味合いでは、元々自分のやりたかった事業内容でした。

東京の会社でリモートワークをしながら地域活性化にボランティア的参画というストーリーから、地元での仕事自体が地域活性化に繋がると、ドストライクの提案でした。

しかしながら法人設立のところからスタートしなければならず、地元の人脈もなく中小企業事業協同組合や派遣業務の知識もゼロ。しかも当初従業員は私一人ということで困難を極める仕事には間違いないという印象でしたが、それ以上に事業に対する可能性を感じました。

早速東京のコンサルの先輩には事情を説明して、何とか了解を得ました。当時はコンサル事業と並行して設立準備もできるかもという思いもありましたが、そこは大変甘い考えでした。

現実には2足の草鞋とはとんでもない、新規事業設立は何もわからない新入社員の頃より厳しいものでした。

事務所に寝泊まりも数知れず、何とか令和5年6月に設立、現在に至ります。



地域で複業 職員第1号 錦江

地域の働き手を確保する
「特定地域づくり事業協同組合」の職員第1号の入組式が、錦江町役場であった。

本釜拓弥さん(21) 同町出身、写真左から2人目が

新規採用され、農畜産業や小売業、土木建築など町内9事業者でつくる組合内のさまざまな職場に派遣、マルチワーク(複業)で繁忙期を支える。
式は2日あった。本釜さんは鹿屋市で販売経験があり、農業をする親の勧めで応募。まずは特産品販売所「ふる里館」で接客やレジを担う。「いろいろな職を経験し、将来は地元で農業か事業をしていきたい」と語った。

県本土初の組合で、2023年度は6人の採用を目指しており、本釜さん以外に2人が内定。月額20万円が支給される。(永井貴士)

同組合(産品6組合、本土1組合)が設立しています。します!!

派遣職員第1号入職時の記事



錦江町MIRAIサポート協同組合 — 私たちこんなことやっています! —

人手が足りない時に人材を派遣して人手不足を解消!
仕事を組み合わせた例
職員は安定した雇用環境で様々なお仕事ができます!

同組合(産品6組合、本土1組合)が設立しています。します!!

この組合は、地域の働き手を確保し、農畜産業や小売業、土木建築など町内9事業者でつくる組合内のさまざまな職場に派遣、マルチワーク(複業)で繁忙期を支える。式は2日あった。本釜さんは鹿屋市で販売経験があり、農業をする親の勧めで応募。まずは特産品販売所「ふる里館」で接客やレジを担う。「いろいろな職を経験し、将来は地元で農業か事業をしていきたい」と語った。

県本土初の組合で、2023年度は6人の採用を目指しており、本釜さん以外に2人が内定。月額20万円が支給される。(永井貴士)

主催：鹿児島県中小企業団体中央会
後援：鹿児島県、錦江町、鹿児島県市長会、鹿児島県町村会、南日本新聞社、南海毎日新聞社、南奄美新聞社、鹿児島県特定地域づくり事業協同組合連絡協議会

特定地域づくり事業協同組合 シンポジウム

～ 特定地域づくり事業の成功に向けた環境整備 ～

特定地域づくり事業協同組合制度は全国で試みを見せ、県内で全国有数の組合が設立(令和4年11月)となりましたが、各地の市町村で後に向けた準備、検討が進んでいます。

今年度のシンポジウムは、先行組合で活躍する地域づくり人材(マルチワーカー)にもスポットを当て、成功の事例や課題について、参加者の意見交換に期待が寄せられています。

特定地域づくり事業協同組合の運営ノウハウや成功の秘訣について学ぶ絶好の機会ですので、多数のご参加をお待ちしております。

対象：市町村等担当者、県及び市町村議員、商工団体、人材不足に悩む事業者、地域おこし協力隊 等

【1日目】 11月16日(木) 14時30分～17時30分
鹿児島サンロイヤルホテル「エトワール」(鹿児島市中央1-10)

14:35-14:50 特定地域づくり推進全国協議会の取り組みについて
14:50-15:30 特定地域づくり事業協同組合の最速の軌跡と事業成功の秘訣について
15:30-16:00 最速の軌跡から考える! 効果的な地域づくり人材獲得の手法
16:00-17:30 移住環境の整備とマルチワーカーという働き方

【2日目】 11月17日(金) 7時45分(朝食)～15時15分(昼食)

様々な場で取り上げて頂きました。

こちらでの様子は先日地元のブログ掲載で取材を受けまして、詳しく書いて頂きましたので読んで頂けると誠に幸いです。

[【錦江しごと図鑑】人と地域と未来をつなげる。 錦江町 MIRAI サポート協同組合 久保秀作さん | 錦江町公式 note](#)

田舎でマルチワーカーしてみたい方大募集しています。もし周りで興味ある方いらっしゃればご連絡ください、飛んで参ります！

最後に

錦江町は観光資源にも恵まれ穴場的な場所がたくさんあります。海・山・食・温泉なんでも揃っています。一から十までご案内しますのでちょっと遠いですが是非遊びにおいでください、絶対に楽しいです！お待ちしております！





最後までお読みいただき
ありがとうございました！